



# やあ!

1996  
NOVEMBER  
No.46 11

市町村文化財紹介  
矢板市

木造木幡神社樓門

昔はかや葺きであったが、昭和36年からの解体修理の際、銅板葺にしたものである。

神仏混交時代の遺物と思われる仁王立像が左右に安置されていたが、解体修理の際取り払い、仁王像を下宮に移し、建築当時の状態にもどした。

---The Wooden Two-Story Gate of Kibata Shrine---

The roof of this two-story gate used to be thatched, but when repairs were undergone in 1961, it was changed into a copper sheet roof.

Two Deva King statues, (which look like relics from late 8th c. when Shintoism and Buddhism influenced one another greatly) were set on both sides of this gate. However, at the time of repair, they were moved from this gate to the lower shrine. Thus, this restored the gate to its original form.



▲木幡神社樓門

カメラルボ

とちぎインターナショナルフェスティバル '96

リポート 国際協力こつこつセミナー PART 1

- ◆ ト ピ ッ ク ス ふるさとづくり事業でミャンマーから9名が来県  
栃木県JICA派遣専門家連絡会  
ヴォーアクリューズ県から高校生・大学生が来県
- ◆ 国際交流団体紹介 小山市国際交流協会
- ◆ こんな店 あんな店 中華料理 雅秀殿総本店
- ◆ TIA INFORMATION 日系人労働者に対する「合同研修会」及び「日本語教室」

TIAホームページ

URL : <http://www.pto.co.jp/tia>



## リポート

# 国際協力こつこつセミナー PART 1

### 第1回 講演会

#### 「政府開発援助について」 「地域における今後の活動」

1996年10月17日

第1回のセミナーは、国際協力事業団（JICA）派遣事業部付の梅谷重夫氏と財団法人栃木県国際交流協会（TIA）の石塚良行事務局長の2人が講演した。

梅谷氏は、「政府開発援助について」というタイトルで、JICAが実施している技術協力の3要素である「研修員の受け入れ」「専門家の派遣」「器材供与」の中から、「専門家の派遣」について、JICAが地方自治体といかに協力し合って発展途上国に専門家を派遣しているかを、現場で活躍している人達を撮ったビデオを通して、説明した。

ビデオでは、札幌市が水道水の専門家をフィリピンへ、埼玉県が公衆衛生の専門家をネパールへ、青森県車力村が寒冷地農業の専門家をモンゴルへ、そして栃木県が砂防の専門家をネパールへ派遣した4つの例を取り上げ、県や市町村が独自のスタイルで国際協力に貢献していることを訴えた。

その他問題点として、アフリカ地域がODAにもかかわらず以前と状況が変わっていない事実を述べ、今後の援助に数値目標

を掲げ、具体的に行動する必要性を説いた。

一方石塚事務局長の「地域における今後の活動」では、今は国際交流から国際協力・貢献の時代に移り変わっていると話し、身近なことから行う国際協力に触れ、例えば外国人と共存するための方法について、文化の相互理解が必要であると述べた。

また、来る21世紀の「アジアの時代」のためにも、アジア地域の人々との交流・つながりがこれから日本に重要であることを語った。



### 第2回 ミニシンポジウム

#### 「外国人の考える身近な国際交流」

1996年10月24日

第2回のセミナーでは、5人の在県外国人をパネラーに招き、「外国人の考える身近な国際交流」をテーマにシンポジウムを行った（コーディネーターはTIAの石塚事務局長）。

パネラーは、パキスタン出身で絨毯や食料品の輸入販売会社を経営しているアバ

### 第3回 ミニシンポジウム

#### 「海外で行われている国際協力」

1996年10月31日

第3回のセミナーは、実際に発展途上国で国際協力活動をされた4人がパネラーとなり、「海外で行われている国際協力」というテーマで開催された。

始めに、コーディネーターのJICA関東支部の大能氏が、JICA専門家、青年海外協力隊、そしてJICAがどのように

国際協力に関する活動を様々な観点からとらえ、実践している方々からその実態を報告してもらう「国際協力こつこつセミナー」が、TIAとJICA関東支部の共催で、10月17日～11月14日の毎週木曜日全5回にわたりプラザイン・くろかみで開催された。今回はその第1回～3回をリポートする。

ル・アバス・アリ氏、韓国出身で9年前に来日し3児の母である朴恵淑氏、ブラジル出身で外国人への日本語指導や生活相談を行っている中島里美氏、アメリカ出身でJETプログラムで来日し宇都宮高校で教鞭をとるマシュー・フレイリー氏、そしてタイ出身で作新学院大学経営学部に在籍しているポンサン・ワヤブットリー氏の5人。

外国人がどのように地域の人々と交流していくらよいか、また日本人が地域に住む外国人にどのように接してほしいかという点から、まず、日本で生活する上での問題点を挙げた。仕事やアパートを探すとき外国人であるため拒否されること、滞在の諸手続きのため公的機関を訪れるときの対応されること、自治会など地域の住民との触れ合いの場に入るときに説明が不足していること、そしてボランティア活動をするとき、日本では身分や所属が優先されるため、個人的な活動ができないことなどがあげられた。こうした中で、外国人と日本人の交流・協力で必要なのは、互いを理解するための「本音とてまえ」なしのコミュニケーション、自分の生活環境のなかでの友人形成、そしてボランティア意識を個人レベルでもっともつこと等が挙げられた。



▲外国人が参加した  
国際協力こつこつセミナー  
ミニシンポジウム

がないという状況で技術指導を行うには、協力活動をするものの知恵と工夫にかかっていること、そして活動をスムーズに行うには、相手の国の言葉・生活習慣を良く知ることが必要であるという。また、テロや災害に遭ったり現地の病気にかかる危険性があるので、常に注意して行動しなければいけないことや、国際協力活動を行うときには、家族の全面的な理解と支援を得なければいけないと語った。



▲専門家・協力隊員  
がパネラーに経験者

# TOPICS

## ミャンマーから9名が来県

ふるさとづくり事業実行委員会（事務局：財自治体国際化協会）による「ミャンマーとの交流を通じたふるさとづくり事業」が去る9月8日～9月15日に実施され、56名のミャンマー人が来日した。

その中の地方交流プログラムで、9月10日～13日の4日間、国家計画・経済開発省



▲日光・華厳の滝で記念写真

## フランス・ヴォークリューズ県から 大学生と高校生が来県

栃木県が友好交流を行っている南仏・ヴォークリューズ県から、2名の大学生が10月20日～29日、5名の高校生が10月28日～11月9日に来県した。

大学生は、アヴィニヨン食品産業経営高等学院（ISEMA）で経営学を勉強しているステファニー・ゴノンさんとフランク・ラグラバさん。「ふるさとマロニエフェア'96」のヴォークリューズ県コーナーでは、県産ワインを来場者に試飲してもらいPRとともにどんなワインが日本人好みなのか調査した。またフランス大使館経済商務部ショールームで行った県産ワイン・



▲ふるさとマロニエフェア'96でヴォークリューズ県産ワインを紹介する大学生



▲岡本小学校で授業参観

## 栃木県JICA専門家連絡会発足

国際協力活動の第一線に身を置いて帰国した栃木県内のJICA帰国専門家が、その知識や国際協力に対するエネルギーをもって、地域における一層の国際協力・交流活動を行うために、10月6日（日）宇都宮市で「栃木県JICA専門家連絡会」を設立した（会員53名、事務局：財団法人栃木県国際交流協会内☎028-621-0777）。

設立総会には、国際協力事業団前支部長の梅谷氏他、各関係団体から代表者が出席した。

この日は「国際協力の日」で、同連絡会の発足にはまさに適した日。開発途上国で活躍された専門家たちが、今後県内でどのように活動していくかが期待されている。



▲「国際協力の日」に設立された栃木県JICA専門家連絡会



▲宇都宮短期大学附属高等学校で調理実習に参加した高校生

## 外務省の インターネットホームページ

外務省はインターネットを使って様々な情報を発信しているが、今までの英語の情報に加え、日本語のホームページを作り、より使いやすくしている。

この日本語ホームページでは、オープニング画面にある3つのボタン「外務省バーチャルハウス」「ウォータースルー」「文字情報」から情報にアクセスできる。

例えば「ワールド・ジャンプ」という部屋では、世界のすべての国に関するデータ、国旗等の他、世界いろいろランキングといった情報が得られる。またイベント、講演会、海外安全情報や、国連、ODA、外交問題に関するQ&Aなど盛り沢山。メールボックスから意見・要望も送ることができる。ホームページアドレスは、<http://infomofa.nttts.co.jp/infomofa/index-j.html>



▲バーチャルハウス



▲フィリピンの祭りのときに踊るスプリダンス

今年で7回目を迎えた「とちぎインターナショナルフェスティバル'96」が、10月27日(日)宇都宮市あけぼの公園で開催された。当日は絶好の秋晴れ。会場には子供からお年寄りまで1万2千人(外国人4千人)が集まった。メインステージでは、インドネシアやフィリピンの民族舞踊、メキシコやペルーの民族音楽が披露され、観客を魅了した。また、会場一杯に張りめぐらされたテントでは、国際交流団体の活動報告をはじめ、外国料理の試食・販売、茶道・着付け・餅つきなどの日本文化紹介、他様々な催しが繰り広げられた。

# カメラルポ とちぎイン



▲金色に彩られた民族衣装に身を包み踊ったインドネシア舞踊



▲餅つきの後は皆で出来立てのお餅を試食



▲JICAの「国際協力パネルクイズ」では正解者に賞品をプレゼント



▼韓国ピザ「チヂミ」と韓国の民族衣装

▶スリランカ料理の試食コーナーでは  
おいしそうな匂いが漂う



# TOCHIGI INTERNATIONAL FESTIVAL '96

## トチギインターナショナルフェスティバル'96



▲外国人が見つめるなか日本の茶道を披露



▲動物の人形を使ってザイールを紹介



▲オープニングを飾った宇都宮市宮の原小学校マーチングバンド



▲会場にはたくさん的人が集まった



▲ペルーの美しいfolkloreが伝統楽器で演奏された



外国人に花嫁衣装を着てもらう

主 催 財団法人栃木県国際交流協会・国際協力事業団  
後 援 栃木県・栃木県教育委員会・栃木県市長会・栃木県町村会・宇都宮市・宇都宮市教育委員会・下野新聞社・栃木放送・NHK宇都宮放送局・エフエム栃木  
協 賛 財あしぎん国際交流財団・栃木県米消費拡大推進協議会・カルビス食品工業株・国際電信電話株・国際デジタル通信株・(株)日本旅行・(株)日本交通公社・日通旅行・近畿日本ツーリスト株・(株)足利銀行・(株)栃木銀行・日本航空株・ヴァリグ・ブラジル航空  
協 力 日本赤十字社栃木県支部

## 国際交流団体紹介

### 小山市国際交流協会

小山市国際交流協会は、平成6年9月30日に設立され、小山市の友好交流都市である中国・本溪市と文化交流をはじめ各種事業をすすめています。

現在、団体・法人会員28、個人会員155名が加入し、平成7年6月の総会で部会制の導入が承認され、交流部会・広報部会の幹事を中心に活動を行っています。

今年度は私たちの身近なところから“音と食”をテーマに、「世界の音楽シリーズ」で珍しい楽器や音楽を紹介しています。また、「うまいものシリーズ」では本場のスパイスを使い、その国人によって紹介していただいている。中国、ペルー、そして先日開催いたしましたタンザニア料理は、TIAとの共催という形で大使夫人によって実施され、参加者からの好評を得ました。その他、スポーツ交流で親交を深め

たりしています。

これから事業としては「とちぎインターナショナルフェスティバル」への参加、中国人帰国子女を囲む会、世界の音楽パートⅢ＆新年パーティーなどを予定しています。

また、現在、中国語講座・日本語教授法講座を開講しています。平成9年1月からはスペイン語講座も開講する予定です。外国人向けの日本語講座もこの10月から開講します。会報『市国際交流協会ニュース』を年3回発行し、情報を提供しています。

このように当協会では、家族的な雰囲気の中で、草の根レベルでの交流をモットーに、眞の交流とは何かを問いつつ、地道な活動を続けています。(事務局:小山市役所総務課内☎0285-22-9313)



▲「世界の音楽シリーズ」で南米音楽を紹介

### 知ってて得する なんでもQ&A

#### [海外留学について パートⅡ]

前回の続きです。外国の大学と言っても様々なので、今回は一番人気の高いアメリカを例にとります。

行きたい学校が幾つか決まつたら、次にカレッジガイドに記されてある連絡先、又は学校の事務局へ、学校の案内及び入学願書を取り寄せるため、資料請求の手紙を出します。詳しい資料が届いて初めて、授業内容、奨学金の有無、授業料や学校の規模等が分かるので、送られてきた案内はよく読むことが大切です。学校を絞り込んだらよいよ入学手続きですが、ここで一つ問題になってくることがあります。それは、大学へ入学するには、大学側が提示したテストを受けて、その点数が基準点を満たしていないければいけないということです。入学の手続き等に関しては次号に続きます。

## こんな店 あんな店

### 中国料理 雅秀殿 総本店

本格的な中国料理店を地域のお客様のために造りたいとのオーナーの意向で、7年前に宇都宮に出店された「雅秀殿」。お店の内装は上海租界当時のイメージを再現し、中国の絵画や書と、シャンデリアの組み合わせは、上海ノスタルジーそのものである。シャンデリアのかさが少し乱雑になってい



▲上海ノスタルジーの外観

るのは、あまりきちんとしているとお客様が入りづらいとの配慮からだそうだ。

料理の内容は、飲茶メニューのようナリーズナブルなものから、本格的な中国料理のフルコースまであり、予算・人数などによりいろいろ楽しめる。

まず、人気のランチメニューは、陳麻婆豆腐(本場四川の麻婆豆腐¥880)で、辛いものが好きな人におすすめだ。他に、スープそばの什景湯麺(¥950)、日替わりランチ(¥880)、週替わりランチ(¥1,200)があり、ドリンクはお代わり自由だそうだ。スペシャルランチ(¥2,500)は、週替わりでデザートが変わる。次に、若い人や少人数向けの飲茶は、¥300~¥850と手軽なお値段。時間限定ではないので、いつでも注文ができるというのもうれしい。ポークのニンニク辛子ソースかけ(¥800)が好評のこと。そしてディナーコースは2名からのコースで、芙蓉名菜席(¥3,000)、百福名菜席(¥4,000)、北京ダック名菜席(¥6,500)、魚翅名菜席(¥8,000)がある。中国酒も紹興酒、金木犀酒、杏露酒等を揃えている。一品料理が希望の方ももちろんOK。三鮮鍋巴(おこげのうまにあんかけ¥2,000)がおすすめだ。

2階は100名程度入れるので、宴会や結



婚披露宴として利用もできる。また峰教会から神父さんを呼んだり、二荒山神社から神主さんを呼んで結婚式を挙げることもできるそうだ。

その他、年末企画「前菜4品・料理7品・飲み放題(¥6,000)」は12月10日まで行われる。また、クリスマスバイキングと称して、12月23日~25日までの期間、¥6,500で料理食べ放題のオーダーバイキングを予定している。

▶住所・電話=栃木県宇都宮市東宿郷6-4-1☎028-632-7722 ▶営業時間=11:30~22:00、年中無休

# 情報発信 地域の国際交流案内

## ★カンボジア・スタディツアーア

発展途上国の青年をアジアの教育・研修機関に派遣し、実地研修を通して技術を習得させ、専門家になるための養成を行っている国際人材開発機構では、来年3月にスタディツアーアを行う。同機構では、第4期生をカンボジアから募集し、タイのコーンケン大学で農村開発の専門家を養成する計画があり、そのため、カンボジアのNGOを見学し、帰途コーンケン大学も訪問する。

▶期日=1997年3月11日(火)~22日(土) ▶参加費用=259,000円 ▶募集対象者=日本人10名 ▶申込締切り=1996年12月30日 ▶連絡先=国際人材開発機構:堀越文彦〒325-03栃木県那須郡那須町高久乙586-526 ☎0287-78-3052

## ★国際理解セミナー「身近な外国人との共生を考える」

国際結婚カップルや外国人労働者が増え、いかに「共生」していくかが問われている。Y M C A 教育センターは、国際理解のできた社会を作るにはどうしたらよいかをテーマに次のとおりセミナーを開催する。(1)国際結婚と日本での生活 ▶日時=1996年11月23日(土) 13:30~15:30 ▶場所=宇都宮市総合コミュニティーセンター2階青少年団体室 (2)外国人労働者の生活 ▶日時=1997年1月12日(日) 13:30~15:30 ▶場所=宇都宮市総合コミュニティーセンター2階第2創作室。(3)外国人の参政権を考える ▶日時=2月予定 ※会費は各回大人800円、高校生500円。問い合わせはY M C A 教育センター☎028-634-8581

## ★外国人の正しい受入れと国際貢献につながる技能実習制度説明会

財団法人入管協会は、日本で働く外国人の正しい受け入れ方や、技能実習生を受け入れ技術を学ばせる「技能実習制度」等についての説明会を行う。

▶日時=1996年12月2日(月) 13:00~16:20 ▶場所=大宮ソニックシティ市民ホール(埼玉県大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル4階☎048-647-4111) ▶参加方法=所定の用紙にてFAXで申し込むか電話にて連絡 ▶連絡先=財団法人入管協会☎03-3291-8081・FAX 03-3291-8077

## ★子どもの幸せをつなぐ国際フォーラム

アジアの子どもたちの生活改善と教育支援を中心とした活動を実施している「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)」は、世界の子どもたちのおかれている現状を認識し、市民による子どもの権利の実現に向けての運動の必要性を確認することを目的にフォーラムを開催する。

▶日時=1996年11月26日(火) 15:00~20:30 ▶場所=国連大学国際会議大ホール(東京青山) ▶参加料=無料 ▶内容=分科会及びパネル討論 ▶参加申込及び連絡先=SCJ事務局☎03-3504-1845

## ★Youth Forum '96

青少年のグループ活動を考える「Youth Forum '96」は、ボランティア活動、国際交流活動、環境問題等に少しでも関心のある方の来場を待っている。

▶日時=1996年11月17日(日) 13:00~16:30 ▶場所=栃木会館小ホール ▶内容=①講演会:講師・山本信也、テーマ「飛び出そう!地域そして社会へ」②事例発表:平成8年度青年海外研修(イギリス・フランス)報告、キャブテントムソヤ事業報告、開発教育紹介他 ▶参加料=

無料 ▶問い合わせ先=栃木県女性青少年課青少年係☎028-623-3075

## ★青年海外協力隊秋募集

▶募集期間=1996年11月30日まで ▶応募資格=20~39歳までの日本人 ▶選考試験=①一次選考…1996年12月15日(日)各都道府県で実施(技術・英語・協力隊員適性テスト)②二次選考…1997年2月1日~7日の指定日に東京にて実施(個人面接・技術面接・健康診断) ▶応募方法=所定の願書を協力隊事務局に提出 ▶送付・連絡先=青年海外協力隊事務局〒151 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マイinzタワー6階☎03-5352-7261

# TIA日誌

1996年9月1日~1996年10月31日

- |       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 9/3   | 海外技術研修員県内視察(~4)                    |
| 9/9   | ミャンマーとの交流を通じたふるさとづくり事業(~13)        |
| 9/17  | 国連中学生作文コンテスト県大会審査会(自治会館)           |
| 9/26  | 北関東三県国際交流協会連絡会議(~27、群馬県)           |
| 9/30  | 第2回JICA専門家連絡会設立発起人会(TIA研修室)        |
| 10/6  | JICA専門家連絡会設立総会(プラザインくろかみ)          |
| 10/17 | 国際協力こつこつセミナー(24・31、プラザインくろかみ)      |
| 10/18 | 青年海外協力隊秋募集説明会(18宇都宮市・29大田原市)       |
| 10/27 | とちぎインターナショナルフェスティバル'96(宇都宮市あけぼの公園) |
| 10/28 | 日仏青少年短期研修事業仏高校生受入(~11/9)           |



## デパート共通商品券

### 全国で使えるJTBの「ナイスショップ」。

全国のデパートで自由にお好きなものを、選んでいただけるJTBのデパート共通商品券「ナイスショップ」。旅のJTBは全国に約1,200店もあるのでちょっと思いついた時、どこでも気軽に求めいただけます。すぐ近くで買えて、だれにでも贈れる「ナイスショップ」。便利で、みんなにうれしいお中元です。

●500円券 ●1,000円券 ●5,000円券の3種類

JTB宇都宮支店 028(622)1803

宇都宮市馬場通り1-1-8

## 優雅な時間への、おもてなし。

四季の変化を、華やかに映す二万坪の大庭園。

季節の花に彩られた館内。

古き良き伝統を受け継ぐ、宇都宮グランドホテルは、

優雅な時をお客さまへ贈ります。

思い出深いひとときを過ごされますよう、

笑顔と温かいおもてなしを添えてお迎えいたします。



UTSUNOMIYA GRAND HOTEL  
宇都宮グランドホテル

宇都宮市西原町142 TEL 028-635-2111

# TIA Information Corner

## ★日系人労働者に対する「職場適応日本語教室」及び「職業生活適応研修会」の開催

日系人労働者の多くが、日本の職場慣習や生活習慣、そして日本語に習熟していないために、職場や地域において様々なトラブルに巻き込まれている。これらのトラブルを避けるため、(財)産業雇用安定センターは「職場適応日本語教室」及び「職業生活適応研修会」を開催する。

- ▶ 目時=1996年12月1日（日）10:30～12:30「職場適応日本語教室」、13:30～16:00「職業生活適応研修会」▶ 場所=山王会館（真岡市並木町3-2-8 ☎0285-84-4188）
- ▶ 対象者=栃木県内及び真岡市周辺市町（他県）に居住するポルトガル語圏及びスペイン語圏からの日系人労働者 ▶ 内容=講師による会話授業、日本での就労に必要な雇用・職業関係の情報提供、日系人労働者の体験談、ビデオによる作業現場のマナー・ルールや安全・衛生等 ▶ 参加料=無料 ▶ その他=昼食、記念品、ガイドブック、日本語テキストの無料配布及び無料国際電話の設置 ▶ 問い合わせ=(財)産業雇用安定センター栃木事務所☎028-623-6335・028-623-6181

## AULA DE JAPONÉS PRÁTICO PARA OTRABALHO E ENCONTRO DE INTEGRAÇÃO NO TRABALHO

Muitos trabalhadores nikkeis acabam sendo envolvidos em problemas no trabalho e ou na vida cotidiana por diferenças de costumes e por dificuldades na língua japonesa. E para amenizar estes problemas, o Centro de Estabilização de Trabalho está organizando este evento.

- ▶ Data: 1/12/96(domingo). Aula de Japonês(10:30～12:30). Encontro (13:30～16:00).
- ▶ Local: Sanno Kaikan, 3-2-8 Namiki-cho,Moka ☎0285-84-4188.
- ▶ Destinados aos nikkeis da América Latina

residentes em Moka e ao seu redor.

- ▶ Conteúdo: informações sobre o trabalho, apresentação de experiências de outros nikkeis, vídeos sobre regulamentos de segurança e higiene etc.
- ▶ Participação: gratuita
- ▶ Outros: Será oferecido almoço, brindes, guias, apostila de japonês, ligação internacional gratuita.
- ▶ Informações: Centro de Estabilização de Trabalho na Indústria ☎028-623-6181 ou 6335.

## INAUGURACIÓN DE UN CURSO DE JAPONES Y ORIENTACIÓN DE LA VIDA DEL TRABAJADOR NIKKEI

Muchos de los trabajadores nikkeis han estado envueltos en problemas en su trabajo o comunidad por falta de conocimiento de las costumbres y del idioma japonés. Para evitar estos problemas el Centro de Estabilidad Laboral de la Industria inaugura un curso de japonés y orientación de la vida diaria.

- ▶ Fecha: 1/12/96(domingo). Curso de Japonés(10:30～12:30), Orientación de la vida diaria (13:30～16:00).
- ▶ Lugar: Sannou Kaikan, 3-2-8 Namiki-cho, Moka, ☎ 0285-84-4188.
- ▶ Destinado a: los nikkeis de América Latina residentes en Moka o pueblos a su alrededor.
- ▶ Contenido: Clases orales de conversación japonesa, ofrecimiento de información sobre leyes laborales, experiencia de algunos nikkeis, orientación de las reglas de seguridad e higiene mediante videos etc.
- ▶ Cuota: gratuita
- ▶ Otros: Se ofrece almuerzo, regalos, folletos, textos del idioma japonés, gratuitas llamadas internacionales.
- ▶ Para mayor información: Centro de Estabilidad Laboral de la Industria ☎028-623-6181 ó 6335.

## ★第Ⅲ期日本語講座（中級）開講

- ▶ 対象=在県外国人 ▶ 内容=中級程度
- ▶ 期間=1996年11月20日～1997年3月19日（毎週水曜日・全16回）18:00～20:00 ▶ 場所=TIA研修室 ▶ 定員=20名 ▶ 受講料=無料（ただしテキスト代は実費）▶ 申

込み=TIA日本語講座係☎028-621-0777

## T.I.A."Japanese Class" for foreigners

The intermediate Japanese Class for foreign residents in Tochigi prefecture will be held as follows;

Date: From November 20, 1996 to March 19, 1997 (Every Wednesday)

Time: 18:00～20:00

Place: The Tochigi International Association(3rd fl.) We accept up to 20 students. Tuition fee is free, however, the students have to buy a textbook.

※For more information, call T.I.A. at 028-621-0777

## TIAライブラリー新着案内

- シドニイ・シェルダン SIDNEY SHELDON
- ▶ BLOODLINE ▶ IF TOMORROW COMES
- ▶ MASTER OF THE GAME ▶ THE OTHER SIDE OF MIDNIGHT ▶ RAGE OF ANGELS
- ▶ THE STARS SHINE DOWN ▶ 血族 ▶ 明日があるなら ▶ ゲームの達人 ▶ 真夜中は別の顔 ▶ 時間の砂 ▶ 明け方の夢 ▶ 天使の自立 ▶ 星の輝き ▶ 私は別人／アカデミー出版

## TIA賛助会員募集中！

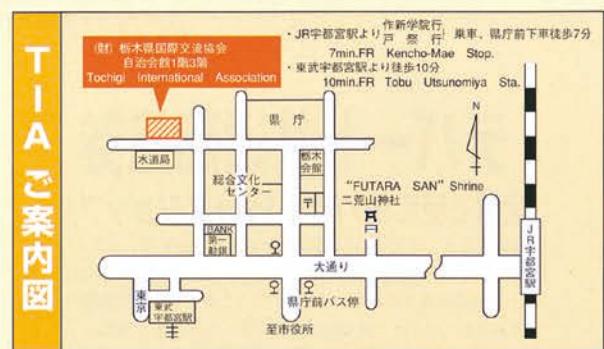
賛助会員になりますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

○毎年恒例の「とちぎインターナショナルフェスティバル」。いやあ～今年は本当に晴れました。野外のイベントはやっぱり晴天じゃないとね。来てくださった皆さんに感謝いたします。今年来られなかつたあなた！来年はぜひいらしてくださいね。

○「国際協力こつこつセミナー」第3回の「海外で行われている国際協力」では、実際に協力活動をしてきた方々から話を聞きました。「戦後生まれの世代で何不自由なく育ってきた人達が、何もない発展途上国で工夫しながら国際協力活動をするのは、結局自分自身の人生の勉強になる」とのこと。協力はお互いのためなんですね。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。



編集・発行 財團法人栃木県国際交流協会  
住所 〒320 宇都宮市昭和1-2-16栃木県自治会館1階  
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用電話)  
FAX 028-621-0951

業務時間 8:30～17:15土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休業